

# 学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.8 平成29年1月15日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

〇12月2日(金) 15:10~17:10 医療講演会

対象：来年度医療専攻希望者(1年生男子4名・女子12名)

会場：本校社会科教室

講師：新潟青陵大学 看護福祉心理学部 看護学科 教授 池田かよ子先生

演題：「産まれる命、つながる命、考えてみよう命のチカラ」



優しい口調でお話くださる池田先生



グループワーク

来年度、医療専攻5期生となる予定の1年生が初めて受講する12月の講演会。「いのちの授業」として先輩達に強い印象を残してくださった池田かよ子先生から、今年も御講演を賜りました。

新潟青陵大学は、看護を学べる4年制大学として、西高生にも人気の高い大学であり、今回は看護系進学をめざす3年生3名も、聴講生として参加してくれました。

## 【先生のお話の抜粋】

①看護する者に必要な心構えの根幹は、「生命尊重・人間尊重」の精神である。そこには「心(Heart)・技術(Hand)・知識(Head)の3H」と「精神(Spirit)・技術(skill)・知識(Science)の3S」とを兼ね備えることが必要である。看護ケアとは、する側からされる側への一方通行ではない。する側とされる側との両者が存在して成立するものである。看護をする者は、時には、される者から元気をいただき、辛いことを助けられているのである。

②「看護」の資格としては、国家資格である看護師・保健師・助産師の3つがある。看護師免許を持つと健康障害のある人の療養上の世話や、診療の補助ができる。保健師免許を持つと、市町村に暮らす人々の健康管理ができる。また、この中で助産師は唯一「助産院・助産所」の開業権がある。出産するお母さんよりも先に、助産師は赤ちゃんと対面できる素晴らしい職業である。

## 【誕生学「いのちの授業」】

「いのちの授業」は「助産師とは、生む女性の力、生まれる子の力を引き出す仕事。」とおっしゃる先生の御専門です。「はじまりの大きさ」が実感できる「人間の卵子の大きさ」(0.1mm)が示されたカードや豊富なスライドなど、たくさんの教材を活用し、わかりやすくお話しいただきました。さらに、等身大の人形と女性の骨盤模型を用いて胎児が通る道のりを御説明いただいた上で、出産シーンが含まれるDVD視聴をしました。みんな真剣に考え、感動で涙ぐみながら映像を見つめていました。

### \*\*\*生徒の感想\*\*\*

○今回の講演会で、今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。看護の意味、免許についてなど、いろいろな話をお聞きすることができました。特に印象に残ったのが、胎児の話でした。赤ちゃんは子宮の中で、0.1mmの大きさの細胞から始まり、お母さんのお腹の中で、ものをみる練習やミルクを飲むための練習を誰から教えてもらわなくても、やっているということに驚きました。生まれる前から、もう学ぼうとしているのは、凄いことだと思います。また、生まれてから2歳ぐらいのあいだは、胎児の時の記憶があるらしいという話は、いいなと思いました。  
(1年女子生徒・看護師志望)

○この講演会で改めて、看護とは何か、また、看護師とはどのような仕事なのか、を考えることができました。看護とは、優しさと思いやりを込めて、人が必要とし望んでいることを与え、癒し、近くで見守り続けながら、必要に応じて介抱するということでした。これは、今後の医療専攻での学びの場面で、忘れてはならないことだと思います。また、看護の資格を取ると、様々な場所で活躍できることも分かりました。私は、専門看護師に興味があり、小児科の看護師が第一志望です。今回の後半の赤ちゃんのお話は、とても楽しかったです。医療について、知らないことばかりですが、これから医療専攻で大いに学んでいきたいと思います。  
(1年女子生徒・看護師志望)

○赤ちゃんは食べ物を与え、オムツを替えるだけでは生きていけない。お母さんが笑顔を見せること、話しかけることなど、「愛情」が赤ちゃんの成長には必須だ。そうしないと、「1歳になるまでに死んでしまう」という中世ヨーロッパの君主が行ったとされる実験の話の聴いて、生まれてきた新しい命が成長するということは、家族にとって赤ちゃんは宝物であるのだということ改めて学びました。先生の後半のお話は、とてもためになりました。また、途中にあった、「いのち」をお題にしたグループワークも楽しかったです。そして、最後に視聴したDVDの中の、生まれたばかりの赤ちゃんを見るときのお母さんの顔が、いとおしそうで、幸せそうで、とても感動しました。私もいつか、そんな場面に立ち会うことができる看護師になるために頑張りたいと思いました。  
(1年女子生徒・看護師志望)



#### 出産時の赤ちゃんの動きの解説

池田先生の首から掛かっているものは・・・

「胎盤とへその緒」モデル

人形は・・・

オーストラリア生まれのジョイくん

身長 50センチメートル

体重 3000グラム

ジョイ君が通り抜けているのは・・・

「女性の骨盤」モデル



母体と胎児の様子・スクリーンでの説明



「胎盤とへその緒」のモデル